

## 2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	医療人間学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎 901教室
担 当 教 員	小松 裕司	実務経験と その関連資格	患者心理や放射線被ばく相談の講演、指導実績 診療放射線技師、産業カウンセラー 学士(人間学)、日本放射線カウンセリング学会会長、JART放射線被ばく相談員初代分科会長			

### 《授業科目における学習内容》

医療従事者は所持している資格に関する専門知識の向上のみならず、患者の心理状態を理解するための知識を学び、全人的な医療を実践することが望まれる。将来、診療放射線技師として従事する上で、患者と円滑なコミュニケーションを図るために知識や技能を習得する。

### 《成績評価の方法と基準》

筆記試験(70%)

出席点(20%)

平常点(10%) 授業への参加・貢献度、ミニツッペーパーの内容、授業態度を総合的に評価します。

### 《使用教材(教科書)及び参考図書》

使用教材 授業で使用するPPT

参考図書 坪井康次『看護のための医学講座(医療人間学)』中山書店 2002年

日本医学教育学会倫理 行動科学小委員会(編)『人間学入門』南山堂 2009年

### 《授業外における学習方法》

傾聴などの講義内容を日常のコミュニケーションに取り入れる。

### 《履修に当たっての留意点》

授業の理解度確認のために、毎回授業終了前にミニツッペーパーを作成してもらい、学生と教員の双方向コミュニケーションが図れる授業を行います。また、グループワークは指示に従い、積極的に参加してください。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	医療現場で必要なコミュニケーションを理解し、実践できる。	配布資料	学習した内容を日常のコミュニケーションに取り入れる
	各コマにおける授業予定	コミュニケーション概要		
第2回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療現場で発生しているエイジズムを理解し、模範的な対応ができる。	配布資料	学習した内容を日常のコミュニケーションに取り入れる
	各コマにおける授業予定	エイジズム		
第3回 講義形式	授業を通じての到達目標	患者心理を理解し、患者個々人に合わせた柔軟性のある対応ができる。	配布資料	学習した内容を日常のコミュニケーションに取り入れる
	各コマにおける授業予定	患者心理の理解とその対応について		
第4回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	LGBTについて理解する。	配布資料	学習した内容を日常のコミュニケーションに取り入れる
	各コマにおける授業予定	LGBT		
第5回 講義形式	授業を通じての到達目標	診療放射線技師の業務を理解し、高い倫理観を養う。	配布資料	学習した内容を日常のコミュニケーションに取り入れる
	各コマにおける授業予定	診療放射線技師業務における倫理		

